

## 農学部

【農学部植物生産環境科学科（高1 種免・理科）】 ①植物生産環境科学科は、植物生産に関わる各種事物・現象について、科学的解析や分析等の探求を通して科学的な思考力や客観的判断能力を養う。また、これからの持続的な植物生産の在り方を視野に、植物についての生産性、機能性、生産環境などについての教育を通して科学的自然観を育成する。併せて、地球温暖化や食糧問題などの地球規模での課題についての専門的知識向上を図り、環境問題についての国際的な見識を備えた理科教員を育成する。②農学に関する高度専門技術者を養成する本学部の教育を受ける中で、次世代を育てる教育職の志を抱く学生に教育職への道を開くことを目的に設置する。③教職課程の取り組みにおいては、これまでと同様に、本学科の全教員が専門教育のための教育を行い、教員養成、教員免許科目、教育実習のためには教育文化学部及び高等学校の教育現場を良く把握している学外講師等の協力を得て、教職者になるための質の向上を図ることとしている。④教職課程の運営については、宮崎県教育委員会の指導を受けるとともに、教育実習では、これまでと同様に、多くの実績がある宮崎県高等学校に協力依頼を行うとともに、学生が卒業した他県高等学校の協力を得ることとしている。⑤この教職課程を受講して、高等学校の理科の教員となる者が増えれば、宮崎県を中心とした地域の若者の理科離れを阻止し、優れた技術者を育成することに貢献できる。

【農学部植物生産環境科学科（高1 種免・農業）】 ①農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識、技術を習得させ、農業の社会的な意義や役割を理解させるとともに、農業に関する諸課題を主体的、合理的に解決し、農業の充実と社会の発展を図る創造的、実践的な能力と態度を育てる。併せて、農業に関する専門的知識の向上を図り、農業教育の指導力を育成する。②農学に関する高度専門技術者を養成する本学部の教育を受ける中で、次世代を育てる教育職の志を抱く学生に教育職への道を開くことを目的に設置する。③教職課程の取り組みにおいては、これまでと同様に、本学科の全教員が専門教育のための教育を行い、教員養成、教員免許科目、教育実習のためには教育文化学部及び高等学校の教育現場を良く把握している学外講師等の協力を得て、教職者になるための質の向上を図ることとしている。④教職課程の運営については、宮崎県教育委員会の指導を受けるとともに、教育実習では、これまでと同様に、多くの実績がある宮崎県高等学校に協力依頼を行うとともに、学生が卒業した他県高等学校の協力を得ることとしている。⑤この教職課程を受講して、高等学校の農業の教員となる者が増えれば、宮崎県を中心とした地域の若者の農業離れを阻止し、優れた農業技術者を育成することに貢献できる。

【農学部森林緑地環境科学科（高1 種免・理科）】 ①森林緑地環境科学科は、森林緑地生態系の成り立ちとその機能に関する教育を通して自然科学に対する関心や探究心を高めるとともに、森林緑地生態系における生物間の相互作用や物理・化学的環境との関係、生物・非生物材料の性質やその高度な利活用等に関する観察、実験を行うことにより、自然の事物・現象についての理解と科学的探究能力を深め、科学的な自然観を育成する。併せて、温暖化・砂漠化の防止や生物多様性の保全等の地球規模で解決すべき環境問題についての専門的知識向上を図り、国際的な見識を備えた理科教員を育成する。②農学に関する高度専門技術者を養成する本学部の教育を受ける中で、次世代を育てる

教育職の志を抱く学生に教育職への道を開くことを目的に設置する。③教職課程の取り組みにおいては、これまでと同様に、本学科の全教員が専門教育のための教育を行い、教員養成、教員免許科目、教育実習のためには教育文化学部及び高等学校の教育現場を良く把握している学外講師等の協力を得て、教職者になるための質の向上を図ることにしている。④教職課程の運営については、宮崎県教育委員会の指導を受けるとともに、教育実習では、これまでと同様に、多くの実績がある宮崎県高等学校に協力依頼を行うとともに、学生が卒業した他県高等学校の協力を得ることにしている。⑤この教職課程を受講して、高等学校の理科の教員となる者が増えれば、宮崎県を中心とした地域の若者の理科離れを阻止し、優れた技術者を育成することに貢献できる。

【農学部森林緑地環境科学科（高1種免・農業）】①農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識、技術を習得させ、農業の社会的な意義や役割を理解させるとともに、農業に関する諸課題を主体的、合理的に解決し、農業の充実と社会の発展を図る創造的、実践的な能力と態度を育てる。併せて、農業に関する専門的知識の向上を図り、農業教育の指導力を育成する。②農学に関する高度専門技術者を養成する本学部の教育を受ける中で、次世代を育てる教育職の志を抱く学生に教育職への道を開くことを目的に設置する。③教職課程の取り組みにおいては、これまでと同様に、本学科の全教員が専門教育のための教育を行い、教員養成、教員免許科目、教育実習のためには教育文化学部及び高等学校の教育現場を良く把握している学外講師等の協力を得て、教職者になるための質の向上を図ることにしている。④教職課程の運営については、宮崎県教育委員会の指導を受けるとともに、教育実習では、これまでと同様に、多くの実績がある宮崎県高等学校に協力依頼を行うとともに、学生が卒業した他県高等学校の協力を得ることにしている。⑤この教職課程を受講して、高等学校の農業の教員となる者が増えれば、宮崎県を中心とした地域の若者の農業離れを阻止し、優れた農業技術者を育成することに貢献できる。

【農学部応用生物科学科（高1種免・理科）】①応用生物科学科は、生物機能及び食品機能に関する教育を通して自然科学に対する関心や探求心を高め、動植物や微生物など様々な生物観察と化学実験を行うことにより科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、自然の事物・現象についての科学的な理解を深める。併せて、今世紀において地球規模で人類が直面すると予測される生命・食料・環境問題に応えるため、生物工学の手法を用いた生物や食品の機能解明とその活用、そして食品の安全性についての教育に重点を置き、これらの専門的知識と国際的な見識を備えた理科教員を育成する。②農学に関する高度専門技術者を養成する本学部の教育を受ける中で、次世代を育てる教育職の志を抱く学生に教育職への道を開くことを目的に設置する。③教職課程の取り組みにおいては、これまでと同様に、本学科の全教員が専門教育のための教育を行い、教員養成、教員免許科目、教育実習のためには教育文化学部及び高等学校の教育現場を良く把握している学外講師等の協力を得て、教職者になるための質の向上を図ることにしている。④教職課程の運営については、宮崎県教育委員会の指導を受けるとともに、教育実習では、これまでと同様に、多くの実績がある宮崎県高等学校に協力依頼を行うとともに、学生が卒業した他県高等学校の協力を得ることにしている。⑤この教職課程を受講して、高等学校の理科の教員となる者が増えれば、宮崎県を中心とした地域の若者の理科離れを阻止し、優れた技術者を育成することに貢献できる。

【農学部応用生物科学科（高1種免・農業）】 ①農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識、技術を習得させ、農業の社会的な意義や役割を理解させるとともに、農業に関する諸課題を主体的、合理的に解決し、農業の充実と社会の発展を図る創造的、実践的な能力と態度を育てる。併せて、農業に関する専門的知識の向上を図り、農業教育の指導力を育成する。②農学に関する高度専門技術者を養成する本学部の教育を受ける中で、次世代を育てる教育職の志を抱く学生に教育職への道を開くことを目的に設置する。③教職課程の取り組みにおいては、これまでと同様に、本学科の全教員が専門教育のための教育を行い、教員養成、教員免許科目、教育実習のためには教育文化学部及び高等学校の教育現場を良く把握している学外講師等の協力を得て、教職者になるための質の向上を図ることにしている。④教職課程の運営については、宮崎県教育委員会の指導を受けるとともに、教育実習では、これまでと同様に、多くの実績がある宮崎県の高等学校に協力依頼を行うとともに、学生が卒業した他県の高等学校の協力を得ることにしている。⑤この教職課程を受講して、高等学校の農業の教員となる者が増えれば、宮崎県を中心とした地域の若者の農業離れを阻止し、優れた農業技術者を育成することに貢献できる。

【農学部海洋生物環境学科（高1種免・理科）】 ①海洋生物環境学科は、自然科学に対する知的好奇心や探求心を高めるため、実験・実習を通して観察力を養うとともに論理的思考のもと真実を探究する能力を育てる。また、自然、特に水域の生態系についての理解を深めることで、自然環境に与える人間活動の影響について科学的および倫理的に考えることのできる能力を育てる。併せて、温暖化・砂漠化等の地球規模で解決すべき環境問題について応えるため、海洋・河川・湖沼の水圏の二酸化炭素の吸収・熱収支の緩和など生物と環境に関わる専門的知識を育成し、これらの専門的知識と国際的な見識を備えた理科教員を育成する。②農学に関する高度専門技術者を養成する本学部の教育を受ける中で、次世代を育てる教育職の志を抱く学生に教育職への道を開くことを目的に設置する。③教職課程の取り組みにおいては、これまでと同様に、本学科の全教員が専門教育のための教育を行い、教員養成、教員免許科目、教育実習のためには教育文化学部及び高等学校の教育現場を良く把握している学外講師等の協力を得て、教職者になるための質の向上を図ることにしている。④教職課程の運営については、宮崎県教育委員会の指導を受けるとともに、教育実習では、これまでと同様に、多くの実績がある宮崎県の高等学校に協力依頼を行うとともに、学生が卒業した他県の高等学校の協力を得ることにしている。⑤この教職課程を受講して、高等学校の理科の教員となる者が増えれば、宮崎県を中心とした地域の若者の理科離れを阻止し、優れた技術者を育成することに貢献できる。

【農学部海洋生物環境学科（高1種免・水産）】 ①水産や海洋の各分野における生産や流通、環境等に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、水産業及び海洋関連産業の意義や役割を理解させるとともに、それらの諸課題を主体的、合理的に解決し、それらの産業の充実と社会の発展を図る創造的な態度を育てる。併せて、水産に関する専門的知識の向上を図り、水産教育の指導力を育成する。②水産学に関する高度専門技術者を養成する本学部の教育を受ける中で、次世代を育てる教育職の志を抱く学生に教育職への道を開くことを目的に設置する。③教職課程の取り組みにおいては、これまでと同様に、本学科の全教員が専門教育のための教育を行い、教員養成、教員免許科目、

教育実習のためには教育文化学部及び高等学校の教育現場を良く把握している学外講師等の協力を得て、教職者になるための質の向上を図ることにしている。④教職課程の運営については、宮崎県教育委員会の指導を受けるとともに、教育実習では、これまでと同様に、多くの実績がある宮崎県高等学校に協力依頼を行うとともに、学生が卒業した他県高等学校の協力を得ることにしている。⑤この教職課程を受講して、高等学校の水産の教員となる者が増えれば、宮崎県を中心とした地域の若者の水産離れを阻止し、優れた水産技術者を育成することに貢献できる。

【農学部畜産草地科学科（高1種免・理科）】①畜産草地科学科は、家畜や草地に関わる教育を通して自然科学に対する関心や探求心を高めるとともに、家畜やその飼料となる植物の構造や生理現象等についての観察、実験等により、自然の事物・現象についての理解を深め、かつ科学的探究能力をも向上させ、科学的な自然観を育成する。併せて、今世紀において地球規模で人類が直面すると予測される生命・食料・環境問題に因應するため、生物・化学の基礎的知識を活用しながら、低コスト・省力化の下で限られた自給飼料資源をリサイクルさせる科学の確立を目指す教育に重点を置き、国際的な見識を備えた理科教員を育成する。②農学に関する高度専門技術者を養成する本学部の教育を受ける中で、次世代を育てる教育職の志を抱く学生に教育職への道を開くことを目的に設置する。③教職課程の取り組みにおいては、これまでと同様に、本学科の全教員が専門教育のための教育を行い、教員養成、教員免許科目、教育実習のためには教育文化学部及び高等学校の教育現場を良く把握している学外講師等の協力を得て、教職者になるための質の向上を図ることにしている。④教職課程の運営については、宮崎県教育委員会の指導を受けるとともに、教育実習では、これまでと同様に、多くの実績がある宮崎県高等学校に協力依頼を行うとともに、学生が卒業した他県高等学校の協力を得ることにしている。⑤この教職課程を受講して、高等学校の理科の教員となる者が増えれば、宮崎県を中心とした地域の若者の理科離れを阻止し、優れた技術者を育成することに貢献できる。

【農学部畜産草地科学科（高1種免・農業）】①農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識、技術を習得させ、農業の社会的な意義や役割を理解させるとともに、農業に関する諸課題を主体的、合理的に解決し、農業の充実と社会の発展を図る創造的、実践的な能力と態度を育てる。併せて、農業に関する専門的知識の向上を図り、農業教育の指導力を育成する。②農学に関する高度専門技術者を養成する本学部の教育を受ける中で、次世代を育てる教育職の志を抱く学生に教育職への道を開くことを目的に設置する。③教職課程の取り組みにおいては、これまでと同様に、本学科の全教員が専門教育のための教育を行い、教員養成、教員免許科目、教育実習のためには教育文化学部及び高等学校の教育現場を良く把握している学外講師等の協力を得て、教職者になるための質の向上を図ることにしている。④教職課程の運営については、宮崎県教育委員会の指導を受けるとともに、教育実習では、これまでと同様に、多くの実績がある宮崎県高等学校に協力依頼を行うとともに、学生が卒業した他県高等学校の協力を得ることにしている。⑤この教職課程を受講して、高等学校の農業の教員となる者が増えれば、宮崎県を中心とした地域の若者の農業離れを阻止し、優れた農業技術者を育成することに貢献できる。